

# 選 択 科 目 問 題

2024年2月5日

自 10:00

至 11:00

## 答 案 作 成 上 の 注 意

1. 選択科目のページは 

日	1
---	---

 から 

数	49
---	----

 までである。

2. 各科目の問題は次のとおりである。1科目を選択し解答すること。

日 本 史.....	<table border="1"><tr><td>日</td><td>1</td></tr></table>	日	1	～	<table border="1"><tr><td>日</td><td>9</td></tr></table>	日	9
日	1						
日	9						
世 界 史.....	<table border="1"><tr><td>世</td><td>10</td></tr></table>	世	10	～	<table border="1"><tr><td>世</td><td>21</td></tr></table>	世	21
世	10						
世	21						
地 理.....	<table border="1"><tr><td>地</td><td>22</td></tr></table>	地	22	～	<table border="1"><tr><td>地</td><td>37</td></tr></table>	地	37
地	22						
地	37						
政 治 ・ 経 済.....	<table border="1"><tr><td>政</td><td>38</td></tr></table>	政	38	～	<table border="1"><tr><td>政</td><td>47</td></tr></table>	政	47
政	38						
政	47						
数 学.....	<table border="1"><tr><td>数</td><td>48</td></tr></table>	数	48	～	<table border="1"><tr><td>数</td><td>49</td></tr></table>	数	49
数	48						
数	49						

3. 解答用紙は日本史、世界史、地理、政治・経済、数学についてそれぞれ1枚である。

4. 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。

5. 受験番号は、指定された箇所に必ず記入し、氏名その他解答以外のことを解答用紙に書かないこと。

## 世界史

## 問題 1

次の文章を読んで、あとの各問に答えよ。

18世紀になると、オランダの勢力後退が明白となり、イギリスとフランスがその後継の地位を争い、植民地と世界商業の支配権をめぐって、1世紀以上に及ぶ断続的な戦争状態となった。

フランスは、17世紀末までに、今の [ 1 ] などのカリブ海植民地や、カナダのケベック、さらにはミシシッピ川流域のルイジアナ植民地などを設け、奴隷貿易を行った。

また地中海ではオスマン帝国との貿易もさかんに行った。

① イギリスも、17世紀後半には、カリブ海の [ 2 ] などに砂糖を生産する植民地を多数つくった。1701年に始まったスペイン継承戦争では、[ 3 ] でスペインから [ 4 ] を、フランスからニューファンドランドなどを獲得した。1732年には北米に13植民地が完成した。

1739年にはスペインと開戦し、フランスはスペイン側についたが、これにもイギリスは勝利した。ついで七年戦争（アメリカでは [ 5 ] ）を終結させた1763年の [ 6 ] で、イギリスはフランスからカナダとミシシッピ以東のルイジアナ、スペインから [ 7 ] を獲得した。こうしたフランスとの戦争にあいついで勝利した結果、植民地帝国の形成へと歩をすすめた。

イギリスとフランスはアジアでも激しく対立した。両国は、17世紀からインド沿岸の港市に商館を設けていた。③ 18世紀になると、インドでは地方の支配者がムガル帝国からの独立の傾向を強めたが、フランスは彼らを利用して勢力拡大をはかった。

イギリスでは、1756年にヨーロッパで勃発した七年戦争はインドでも [ 8 ] となり、 [ 9 ] がひきいるイギリス東インド会社軍が1757年にフランス・ベンガル太守軍を破り、イギリス領インドの基礎をきずいた。

七年戦争は、当時としては大戦争であった。このため、戦勝国のイギリスを含めて、参戦国はいずれも深刻な財政危機に見舞われることになった。④ 植民地に負担を分担させようとしたイギリスやスペインでは、白人の定住者による独立運動が起こった。⑤ また、多くの植民地を失ったフランスでは、財政が危機的な状況となり、 [ 10 ] の引き金となった。

問1 [ 1 ] ~ [ 10 ] に入る適切な語句を次の語群から選び，記号で答えよ。

【語群】

- |             |            |                  |
|-------------|------------|------------------|
| ア. セネガル     | イ. アカプルコ   | ウ. アンカラの戦い       |
| エ. ウィリアム王戦争 | オ. ユトレヒト条約 | カ. アーヘン条約        |
| キ. プラッシーの戦い | ク. ハイチ     | ケ. ユグノー戦争        |
| コ. 産業革命     | サ. パリ条約    | シ. フレンチ・インディアン戦争 |
| ス. チュニス     | セ. フランス革命  | ソ. ジブラルタル        |
| タ. ジャマイカ    | チ. モガディシュ  | ツ. コルベール         |
| テ. フロリダ     | ト. クライヴ    |                  |

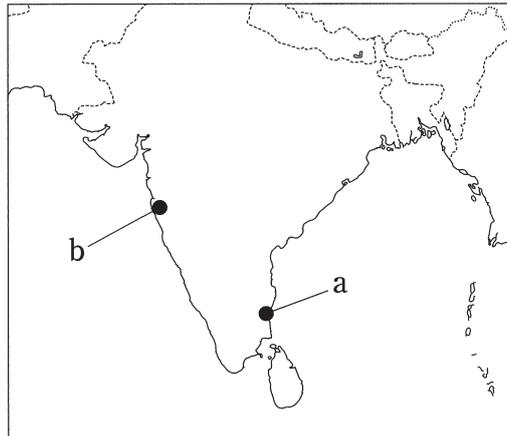
問2 下線部①について述べた次の文を読んで， ~  に入る適切な語句を答えよ。

オスマン帝国は， がシリア，エジプトを併合し，東地中海を中心に大帝国を築き， の時代に最盛期を迎えた。フランスと結んで 家と対抗し，ハンガリーを征服し，1529年に を包囲した。後を継いだセリム2世は，フランス商人に領内での安全保障，免税，治外法権などの特権を与えた。この特権を といい，やがてイギリスやオランダの商人にも与えられ，西ヨーロッパとの交易がさかんになった。

問3 下線部②について述べた次の文を読んで， と に入る適切な語句を答えよ。

17世紀初頭，イギリスが北アメリカ東岸に最初の植民地 を設けた。その後，多くのピューリタンが本国での迫害を逃れて北アメリカに移住し， 植民地が形成された。

問4 下線部③について、次の図のaとbの地名の組み合わせとして適切なものを、下のア～カのなかから選び、記号で答えよ。



- ア. a：ポンディシェリ      b：ゴア  
イ. a：ゴア      b：ボンベイ（ムンバイ）  
ウ. a：ポンディシェリ      b：ボンベイ（ムンバイ）  
エ. a：ボンベイ（ムンバイ）      b：ポンディシェリ  
オ. a：ゴア      b：ポンディシェリ  
カ. a：ボンベイ（ムンバイ）      b：ゴア

問5 下線部④について、イギリスがフランスとのあいつぐ戦争に勝利した要因の一つに、17世紀末に実現した「財政革命」により、大量の国債を発行して戦費調達が可能だったことが挙げられる。この「財政革命」の時に創設された銀行の名称を答えよ。

問6 下線部⑤について、1765年、イギリス本国政府が植民地での商取引や新聞などに課税する法律を制定すると、植民地の自治を侵害するものとして、各植民地で激しい反対運動が起こった。この法律の名称を答えよ。

## 問題 2

次の文章を読んで、あとの各問に答えよ。

朝鮮半島の歴史は、大国との関係だけでなく、諸国家の利害が衝突する要衝としての特徴を多分に示している。当初、朝鮮半島は中国諸王朝との関係を深め、使節や留学生を送ることを通じてその制度を取り入れ、国家体制を整えた。中国諸王朝と周辺国との関係は、中国の皇帝が周辺諸国の君主や首長との間で名分上の君臣関係を結び、<sup>①</sup>周辺諸国の君主が中国の皇帝に臣下の礼をとって貢物を送り、それに対して官職や称号を与えることで成立した。こうした国家間の関係は朝鮮半島を含むアジア全域に広がり、[ 1 ] 世紀に至るまで続くことになる。こうして形成された東アジア文化圏の中で朝鮮半島では、中国から漢文や儒教、[ 2 ] などを積極的に取り入れた。

他方、朝鮮半島内部では、絶えず独自の国家形成の動きも見られた。4世紀に半島北部を支配した[ 3 ]や、半島南部に成立した[ 4 ]や百済などは、中国の諸王朝に使節を送ることで勢力の拡大を目指しつつ、互いに対立と融和を繰り返した。この時代は[ 5 ]と呼ばれる。その後、朝鮮半島の大部分の支配権を確立した[ 4 ]は、唐の官僚制を取り入れながらも、[ 6 ]といわれる独自の身分制度を維持し、10世紀に成立した高麗では、国家の保護の下、独自の[ 2 ]文化が形成された。そして、[ 7 ]が高麗を倒して樹立した朝鮮王朝では、明に対する従属関係が継続されながらも、ハンゲルの制定などの独自の文化事業も引き続き行われた。

19世紀に入ると、それまでの国家間の関係は大きく変化した。19世紀後半、欧米諸国が朝鮮に開国をせまったことに加え、日本が不平等条約を朝鮮に強いたことにより、朝鮮国内は攘夷派や改革派などに分かれて混乱した。さらに改革派は、日本に接近して改革をすすめようとする[ 8 ]らの勢力と、中国清王朝寄りの勢力などに分かれるに至った。こうした状況に際し、清と日本が自国の影響力を確保しようとして1894年に勃発したのが[ 9 ]である。これに勝利した日本は、朝鮮への影響力を強めたが、その後にはロシアが朝鮮への圧力を強めたことにより、日露両国の対立が激化し、1904年には日露戦争が勃発した。日本はこれにも勝利したことにより、朝鮮への支配を強化し、1910年には大韓帝国を併合するに至ったが、<sup>②</sup>こうした行為は朝鮮国内に大きな反発を生んだ。

第二次大戦後、朝鮮は独立することになるが、ここでも大国の利害と思惑が、朝鮮半島に影を落とした。北緯38度線を境に、半島北部を[ 10 ]が、南部をアメリカ合衆国

が占領下に置いた後、南北はそれぞれ、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）、大韓民国（韓国）として独立した。しかし、北朝鮮が韓国に侵攻したことにより③大国の介入を招き、大規模な戦争に発展した。1953年には休戦協定が成立したが、南北の分断が固定化し、現在にまで至る禍根を残すこととなった。現在の北朝鮮問題や日韓関係は、以上のような歴史的背景を有している。

問1 [ 1 ] ～ [ 10 ] に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

【語群】

- |           |            |         |
|-----------|------------|---------|
| ア. イギリス   | イ. 閔氏      | ウ. 李成桂  |
| エ. 20     | オ. 日中戦争    | カ. 新羅   |
| キ. 日清戦争   | ク. フランス    | ケ. 骨品制  |
| コ. ヒンドゥー教 | サ. 金玉均     | シ. 朴正熙  |
| ス. 月氏     | セ. キリスト教   | ソ. 九品中正 |
| タ. 19     | チ. 中国      | ツ. 加羅諸国 |
| テ. 三国時代   | ト. 高句麗     | ナ. ソ連   |
| ニ. 仏教     | ヌ. 春秋・戦国時代 | ネ. 鄭成功  |

問2 下線部①について、中国とその周辺諸国との間で築いた国際体制は何か。漢字2字で答えよ。

教学社注：〔解答欄〕   体制

問3 下線部②について、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) ロシア革命や民族自決の潮流に呼応して、1919年、朝鮮で発生した独立要求の動きを何というか。
- (2) この独立要求の動きを機に、朝鮮総督府は強圧的な手法を改めて、新たな統治政策に転換した。この統治政策を何というか。

問4 下線部③について述べた次の文を読んで、とに入る語句の組み合わせとして適切なものを、下のア～カのなかから選び、記号で答えよ。

朝鮮戦争では、北朝鮮を中国が、韓国をアメリカ合衆国が支援した。その背景には中国などを中心とした陣営と、アメリカ合衆国を中心とした陣営の対立という構図があった。

- ア. A：平和主義      B：権威主義      エ. A：民族主義      B：全体主義  
イ. A：資本主義      B：社会主義      オ. A：社会主義      B：資本主義  
ウ. A：権威主義      B：平和主義      カ. A：全体主義      B：民族主義

**問題 3**

次の文章を読んで、あとの各問に答えよ。

現在の中東情勢の混乱の原因は古代にさかのぼることも可能である。かつてヘブライ人は [ 1 ] の死後、エルサレムを都として王国を築いたが、南北に分裂し、アッシリアや新バビロニアに征服され、彼らの多くは外国へ強制的に移住させられた。その後、彼らはペルシャのクロス王により解放され、<sup>①</sup>ユダヤ人としてエルサレムに神殿を再建し、ユダヤ教を確立した。

しかしその後、ペルシャ、ギリシャ、ローマなど大国の統括や支配下におかれ、長きに渡ってユダヤ人による国家建設は適わず、第二次世界大戦中には、ナチス・ドイツによる [ 2 ] の苦難を味わうこととなる。第一次世界大戦中には、イギリスが戦局を優位に進める目的から、対中東政策として二重の外交措置をとったことにより、現在のアラブ・ユダヤの両民族の対立に至る火種が生まれることとなった。すなわち、アラブ人にオスマン帝国からの独立と国家建設を約束した [ 3 ] と、他方におけるユダヤ人主体の国家建設などパレスチナ復帰運動の支援を約束した [ 4 ] である。

第二次大戦後、イギリスの委任統治領であったパレスチナは、国連総会の決議により、ユダヤ・アラブ両国家に分割されることが決定された。そして、ユダヤ人がイスラエルの建国を一方的に宣言したことにより、これに反発するアラブ諸国との間に第1次中東戦争が勃発した。これにより、100万人をこえる [ 5 ] が発生し、国際問題となった。

エジプトでは、イギリスに追随する政権に対する不満を背景に、1952年、ナギブらの指導する自由将校団が王政を倒し、<sup>②</sup>53年共和国を樹立した。翌年、[ 6 ] が政権を奪取し大統領になると、国内の近代化と経済開発の推進のために [ 7 ] の建設に着手した。このときエジプトは、建設資金を確保すべく、[ 8 ] の国有化を宣言したが、これには、イギリスとアメリカ合衆国がエジプトに反発して行った経済援助停止への対抗姿勢も背景にあった。かつてこのインフラは19世紀後半の世界的な不況と工業国同士の競争の中で、イギリス保守党のディズレーリ首相が、インドへの道の確保などを目的として買収したものであり、西洋列強の世界政策における典型的拠点をなしたものである。エジプトの動きに対し、<sup>③</sup>イギリス・フランス・イスラエルは軍事行動をおこした。これは第2次中東戦争と呼ばれる。この混乱の中、中東諸国はアメリカとソ連のいずれかの陣営に組することとなり、[ 9 ] に巻き込まれていくこととなる。

中東をめぐる情勢はさらに混迷を極め、パレスチナ難民は1964年に〔 10 〕を設置して、イスラエルに対して武力による抵抗闘争を組織化するに至った。パレスチナ問題の緊張が高まるなかで、67年には、イスラエル軍が奇襲攻撃をしかけ、ガザ地区などを占領した。これは第3次中東戦争と呼ばれる。

中東情勢の混乱は収束することなく、〔 11 〕が〔 6 〕の跡を継いだエジプトは、シリアとともに、第3次中東戦争で失った領土を回復すべく、73年にイスラエルに反撃した。これは第4次中東戦争と呼ばれるが、その影響は世界経済に深刻な影響をもたらした。<sup>④</sup>その後、〔 11 〕は戦争による決着を断念して、イスラエルとの和平に転じ、79年〔 12 〕が締結されたことにより、シナイ半島がエジプトに返還されたが、中東をめぐる情勢は、ユダヤ人とアラブ諸国の関係という枠組みを越えて、世界各国の思惑がからみ、テロや紛争・戦争の温床となるなど、現在でも完全な鎮静化を見ていない。

問1 〔 1 〕～〔 12 〕に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

【語群】

- |                   |                 |              |
|-------------------|-----------------|--------------|
| ア. 冷戦             | イ. モーセ          | ウ. ソロモン王     |
| エ. 難民             | オ. ホロコースト       | カ. フーバー・ダム   |
| キ. アラファト          | ク. アメリカ合衆国      | ケ. 中国        |
| コ. スエズ運河          | サ. ファタハ         | シ. サイクス・ピコ協定 |
| ス. 移民             | セ. アスワン・ハイダム    | ソ. サダト       |
| タ. パナマ運河          | チ. フセイン・マクマホン協定 |              |
| ツ. パレスチナ解放機構      | テ. バルフォア宣言      | ト. ヤセル       |
| ナ. 世界恐慌           | ニ. ナセル          |              |
| ヌ. エジプト・イスラエル平和条約 |                 |              |

問2 下線部①に関連して、紀元前6世紀の出来事の名を答えよ。

問3 下線部②の出来事の名を答えよ。

問4 下線部③について、第一次世界大戦前の近代において、西洋列強諸国が軍備拡大競争を行い、世界を自らの植民地や勢力国に分割していった動きのことを何というか。

問5 下線部④について述べた次の文を読んで、・に入る適切な語句を答えよ。

アラブ産油国は、反アラブの立場をとる国への供給を制限することで、その価格を大幅に引き上げた。この措置はをもたらし、を経済の原動力とする世界各国に不況をもたらしした。

## 問題 4

次の文章を読んで、あとの各問に答えよ。

下の図は、北宋の張沢端作の「清明上河図」である。「清明上河図」は、北宋の都 開封<sup>①</sup>の光景を、汴河（通済渠）の流れに沿って、市民の生活について衣食住にいたるまでいきいきと描いている<sup>②</sup>。図の正面には、虹橋というアーチ型の橋の下を、右からくる船が通り抜けようとしている。橋の上には露店も多く出ており、たくさんの人々が行き交っている。



(出典 文化庁「文化遺産オンライン」『清明上河図巻』)

黄河と大運河の接点にあたる開封に都をおいたのは [ 1 ] の後梁が最初であるが、宋も開封を都に定めた。開封の利点は、水路をつうじて中国の東西南北を結びつける商業網の中核としての位置にあった。

唐末以降、商業に対する規制がゆるみ、都市のなかで商業活動が活発におこなわれただけでなく、城壁の外には定期市場の [ 2 ] もあらわれた。都市の人口も膨張し、地方の交通の要所には [ 3 ] や市とよばれる新興都市が生まれた。全国から税を集めて巨額の軍事支出をおこなう宋の中央集権的な財政運営<sup>③</sup>も、全国的な物資の流通をさかんにした。また都市では、同業組合である [ 4 ] (商人組合)・作(手工業組合)が組織され、相互の利益をはかるようになった。

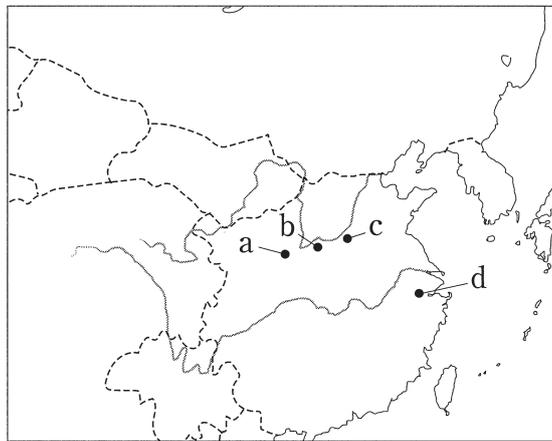
商業の躍進とともに、貨幣経済も発達した。商売の取引には一般に銅銭が用いられたが、それでも間に合わず、手形として発生した [ 5 ] や会子が紙幣として使われるようになった。

問1 [ 1 ] ~ [ 5 ] に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

【語群】

ア. 鎮    イ. 宝鈔    ウ. 坊    エ. 朱全忠    オ. 李自成  
カ. 郡    キ. 交子    ク. 行    ケ. 会館    コ. 草市

問2 下線部①について、この都市の位置を次の地図中の a~d のなかから選び、記号で答えよ。



問3 下線部②について述べた次の文を読んで、 ~  に入る適切な語句を答えよ。

隋の  は、南北朝時代に開発のすすんだ江南を華北と結びつけるため、中国史上はじめての南北の交通幹線である大運河を完成させた。すなわち、605年に黄河と淮河を結ぶ通済渠、608年に黄河と涿郡をつなぐ永濟渠、610年に長江と杭州を結ぶ江南河である。しかしこれらの大土木工事の負担と  遠征の失敗により、各地で反乱がおこり、隋は統一後30年足らずで滅んだ。

元の時代には、中国もモンゴル帝国の広域的な交易網のなかに組みこまれ、長距離商業が活発となった。江南と大都を結ぶ南北の交通としては、大運河が補修され新運河も開かれたほか、長江下流から  半島をまわって大都にいたる  も発達した。

問4 下線部③に関連して、北宋では、北方民族の圧迫に対し、中央集権的な軍事制度を強化して対処しようとしたため、防衛費の増大による国家財政の窮乏に直面していた。この危機に対処するために行われた王安石の新法について、次の語句を全て用いて200字以内で説明せよ。

小農民 国家財政 富国強兵 司馬光 新法党